

【令和5年度】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 活用状況

○子育て支援への活用

	事業名	事業概要と事業効果	事業費(円)	交付金充当額(円)	事業始期	事業終期	成果指標		
							指標名	目標値	実績値
1	学校給食費物価高騰対応事業 (市立中学校・小学校・幼稚園)	食料品等の物価高騰の影響による学校給食費高騰分を市が負担することで、保護者負担を軽減しました。	49,821,854	37,050,854	R5.6.30	R6.1.31	物価高騰を理由とした保護者負担増額(円)	0	0
2	保育所等物価高騰対策事業 副食賄材料費支援(3歳~5歳児)	コロナ禍において物価高騰が続く中、私立認定こども園・幼稚園の利用者の経済的負担を軽減するため、利用者に対する副食費の食材料費高騰額等を支援することにより、利用者及び事業者の負担軽減しました。	3,661,200	3,661,200	R5.10.1	R6.2.28	物価高騰を理由とした保護者負担増額(円)	0	0
3	子育て支援医療費助成	新型コロナウイルス感染症や国際情勢の変化に伴う電気・ガス・食料品等の価格高騰の影響による家計の圧迫を軽減させるため、子育て支援医療の適用年齢を18歳まで拡大し医療費の給付を行いました。	12,380,633	12,380,633	R5.12.1	R6.3.31	対象者への給付率(%)	100	100
4	就学援助事業費	新型コロナウイルス感染症や物価価格高騰の影響により、経済的理由に就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、児童・生徒に平等な教育の機会を与えるための援助を行いました。	93,577,778	23,041,114	R5.4.1	R6.3.31	対象となる児童・生徒全員への支援率(%)	100	100
合 計			159,441,465	76,133,801					

○事業者支援・生活者支援への活用

	事業名	事業概要と事業効果	事業費(円)	交付金充当額(円)	事業始期	事業終期	成果指標		
							指標名	目標値	実績値
1	エネルギー・食料品等価格高騰重点支援給付事業	コロナ禍において原油価格・価格高騰等に直面する低所得世帯の支援を目的に給付金を支給しました。 ●6,236世帯(3万円/世帯)	198,567,792	198,567,792	R5.6.30	R6.1.31	-	-	-
2	公共交通確保維持支援金	地域住民の移動手段のうち特に市民の生活に密接するバス・タクシー事業者に対して、持続可能な公共交通の維持を目的として補助を行いました。	8,800,000	8,800,000	R5.8.1	R5.10.5	対象事業所への補助金補助率(%)	100	100
3	キャッシュレスサービスを活用した価格高騰重点支援事業	市内の対象店舗にて、キャッシュレス決済を利用して買物をした方にその購入額によりポイントを付与しました。 ●1人あたり4,000ポイント上限	122,100,215	122,100,215	R5.8.8	R6.1.25	消費喚起額(円)	384,000,000	350,484,000
4	木津川市生産者省エネ設備等導入支援事業	燃油価格等の高騰により影響を受けている農業経営体を対象に、農業用機械の省エネ利用のための点検、修理、部品交換及び増設、買い替え等に要する経費を支援しました。	16,213,984	16,213,984	R5.9.1	R6.3.5	支援数(件)	20	92
合 計			345,681,991	345,681,991					